



5月号 発行所 全日本仏教会 東京都中央区築地3-1(本願寺内) 振替東京37600
発行人 伊藤勝淳 編集人 柳 了堅 電話 (542) 2969・8666 (541) 0313

仏教徒のねがい

1. 仏に帰依し、仏の教えに帰依し、仏の教えをあおぐ人々に帰依して正しく明るく生きぬく人間となります。
2. 仏の智慧と慈悲に照らされて、さとり道の求め、真実の自己にめざめると共に、多くの人々に仏のおしえを伝えます。
3. みずから戒めを守り、行ないを反省し、生かされている身の幸せに気づいて、あらゆる恵みに感謝し、歡喜と愛情をもって明るい生活を築きます。
4. みずからとらわれと偏見をすて、真実を正しく見、創造力を養い、個性を伸し、よるこんで世のためにつけて、自他平等の幸せな社会を作ります。(全日本仏教会制定)

昭和40年度

事業報告

財団法人全日本仏教会

1. 加盟仏教団体相互の連絡、提携および親睦

- 4月13日 千葉県仏教会役員総会出席
- 〃 25日 関東駿甲信越ブロック会長会議開催
- 5月25日 墓地問題懇談会開催
- 12月4日 東京都仏教連合会創立45周年祝賀会に出席

2. 仏教教化運動の総合的企画および促進

- 6月19日 仏教文化京都会議開催
- 7月10日 〃 仙台 〃
- 7月24日 〃 東京 〃
- 10月10日 〃 七尾 〃
- 3月28日 第10回全仏講習会開催
- 〃 29日 〃

3. 諸官庁および関係諸団体との連絡

- 4月6日 宗教センター理事会出席
- 〃 24日 〃 設立記念講演会参加
- 8月12日 宗教センター理事会出席
- 7月3日 終戦20周年戦没者追悼法要厳修
- 1月8日 北朝鮮遺骨収集運動実現促進運動に参加
- 4月15日 セイロン台風救援金品依頼

4. 仏教界に関する調査および研究

- 8月29日 第13回全日本仏教徒会議長野大会に対する調査

5. 各種仏教運動の実践および育成

- 6月3日 第3回大阪仏教徒会議出席
- 8月28日 } 第13回全日本仏教徒会議長野大会開催
- 〃 29日 }
- 10月6日 第7回静岡県仏教婦人大会出席
- 〃 24日 野田市仏教徒会議出席
- 11月25日 福島県仏教会創立記念大会後援
- 10月22日 機関誌「全仏通信」内容調査

6. 各国のWFBセンターおよび仏教諸団体との連絡

- 5月21日 タイ国法王逝去に際し弔電
- 6月22日 訪印日本仏教代表団につき、印度大菩提会へ書簡
- 〃 〃 在伯仏教各宗連合会へ、リオ400年祭につき照会
- 7月23日 タイWFB本部へ事業報告(1月~8月)
- 8月2日 ベトナム問題声明書を各WFBセンターへ発送

- 9月1日 タイWFB世界本部会長来日
- 10月24日 世界仏教青年大会準備理事会参加日本代表団の出発に際し、各国へ便宜供与方依頼
- 〃 28日 訪印日本仏教代表団出発に際し、各国へ便宜供与方依頼
- 11月1日 インド首相急逝に際し弔電、在東京大使館弔問
- 12月1日 曹洞宗大本山總持寺青年僧のタイ仏教実践につきWFB本部へ依頼
- 3月9日 タイのウエサカ祭に、会長メッセージを送る

7. 世界仏教徒会議への参加および文化の交流と促進

8. 仏教および仏教徒による国際親善および文化の交流と促進

- 4月9日 ハワイ国際花まつり大会に参加
- 〃 17日 南ベトナム社会福祉大臣来日につき、歓迎会開催
- 〃 20日 海外日系人物故者慰霊法要のつき、各海外開教寺院へ調査
- 〃 22日 米国香港総領事リチャード・ガード氏歓迎会開催
- 5月27日 故ネール印度首相一周忌追悼講演会開催
- 6月8日 在日東南アジア仏教系学生リスト作成につき、各大学へ依頼
- 〃 11日 ベトナム万行大学長歓迎会開催
- 9月3日 WFB本部会長歓迎会開催
- 10月16日 ハワイ国際仏教婦人大会参加代表団歓送
- 11月6日 訪印日本仏教代表団の歓送
- 〃 11日 南ベトナム統一仏教教会代表来日出迎え
- 〃 12日 〃 歓迎会開催
- 〃 16日 中華民国訪問日本仏教代表を羽田に見送る
- 〃 18日 南ベトナム統一仏教教会代表 〃
- 〃 27日 訪印日本仏教代表団帰国出迎え
- 2月24日 岸 信宏会長訪印歓送
- 3月2日 〃 帰国

9. その他目的を遂行するに必要な事業

- 2月14日 ベトナム仏教徒救援について懇談会開催
- 3月4日 〃
- 〃 14日 〃 実行委員会準備会開催

全日本仏教徒会議 愛知大会

■ごあんない■

ひとりでも多く

愛知県仏教会 長 竹田 鉄仙

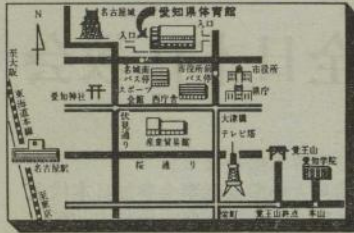


竹田鉄仙会長

六月三日四日の全日本仏教徒会議愛知大会も間近になりました。「仏教は一なり」善光寺如来の安座まします長野大会に続いて、日本唯一の仏舎利奉安塔をまつる愛知県で、第十四回目の大会を催すことになりました。このことは、われわれ一同価値頂戴感激に堪えない次第であります。文字通り、人間(イ)十目(盲)の見えるところ隠(し)すことの出来ない、仏都愛知伝来の仏徳の致す当然の待遇であると、県民挙って大会の盛會裡に無事円成することを

念願して、中央を初めそれぞれ各位の指導を仰ぎつつ、懸命の諸準備に邁進して居ります。

庶務・財務・渉外・企



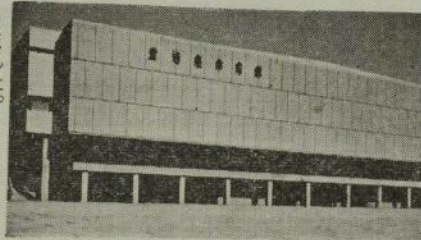
画・組織・広報の六部におのおの適材を得て、それぞれの方針職務に向って已にその大半は実行を待つばかりになって、全国からの御参会を鶴首望んでいる現状にあります。

家庭の愛護・仏陀の護法受持に忘れることの出来ない仏教婦人会の結成を致し、更に仏青の結成を見るべく努力しております。大会部会の協議案も、寄せられたそれぞれの議案を中央で審査決定することになっておりますが、私どもの本大会で特に希望しているところは、社会教化の実動面

県立体育館は、市電大津橋電停および名城前電停より徒歩約五分、市バス市役所前停留所より徒歩で約四分、また名城南停留所より徒歩約二分の距離にあります。

に地方庁とも協力し、組織の力によって行なうならんかの基準を生み出したというところであり、本大会の企画部では、その一端として「光はすみずみまで」のスローガンのもとに、養老施設身体障害施設等の慰問教化をすることを計画決定しておるのであります。

ウエサカ祭も、已に仏教関係学校の若き学徒数千の参加を決定し、仏舎利奉安塔頭揚の主旨からなる伊藤清永画伯の奉安塔描写の記念の額皿も出来し、県下に万余の会員の参会応募もな



愛知県体育館

りました。

ただ希くは、仏教護持のためになさねばならぬこの大会の使命のもとに、全国より一人でも多く御参会下され、国家社会にいい世界の情勢に仏陀の教を臨床化し、応病与薬の仏陀の真精

(青少年部会の会場になる愛知学院大学)



神を發揮する大会として頂くよう、念願して己まない次第であります。

ウエサーカとは
(愛知学院大学学長)

第十三回全日本仏教徒会議愛知大会では大会と併せてウエサーカ祭を行い、釈尊の遺徳を讃えるための行事を行う。それではウエサーカとは一体どういう意味をもつ言葉であろうか。
ウエサーカとは、五月の満月の日に、釈尊の誕生と成道とネハンの三つの意味を含めた祭典をいふのである。これは、マハーヴンサ(大史)に、釈尊がウルビニラ

前大会でご好評をいただきましたこのたびも本真珠製品お念珠ほかいろいろと揃えて
会場場で展示即売会
よろしく
お引立をお願いします。

石川真珠

三重県志摩郡大町船越
神奈川県逗子市逗子七丁目1-9

■SNAIL	布教用の素材
■すねい	ならんどもー
■教杖	ご一報
■センター	お母下さい
■下京・花塚町	スライド
■油小路内	正像
■(37) 4541	各種制作

感謝の礼拝
平和な家庭

株式会社
小堀仏具店

本店 京都市烏丸通東本願寺前
電話 37-2195 (代表)・37-1256

東京店 台東区西浅草1丁目6番5号
電話 844-3715・6656・841-8328

大谷ご本願、室内改装
ご莊嚴設計施工の栄に
浴しました。

村なる菩提樹の下で、ウエサーカ月の満月の日に無上正覚を成就せられたというのが、よりどころになつているといわれる。



会場にあてられた大谷派名古屋東別院

心の平和・世界の平和
仏教婦人は祈る

全仏婦連の全国大会

全仏加盟
記念大会 岐阜県仏連

岐阜県仏教連合会の全仏加盟記念大会は、四月二十四日午後一時半から、岐阜市民センターに県下の檀信徒四千数百人が集り盛大にひらかれた。
式典は岐阜南高校プラスバンドによって開幕、仏教女子青年代表の献灯、献華、献香、三婦依文、礼拝ののち全仏黒田事務総長から加盟承認書を、伊藤組織

局長から仏旗をそれぞれ授与、和田耕正県仏連会長のあいさつのおと、若染岐阜市仏教会檀信徒部会長が「私たち仏子は、いよいよ仏法興隆と寺院の振興に寄与することを大法輪の前に誓います」と宣誓文を朗読した。
引つづき松野岐阜県知事、松尾岐阜市長の祝辞、仏教徒の歌「ああこのよる

こび」の大合唱があつて同二時式を終った。
このあと記念講演として、東本願寺法嗣大谷光紹師が「現代に生きる仏教」駒沢大学総長の山田 豊林師が「現代人の生活と禅」それに作家として知られる中尊寺貫主今東光師が「人生雑感」をユーモアをまじえて仏教徒は大同団結せよと唱え、各講師とも熱弁をふるって大衆にふかい感銘をおたえ、つづいて大阪相愛学園合唱団による仏教讃歌も

披露があつた。全仏会長知恩院門主岸信宏師は御忌法要を終えてかけつけられ、この大会の成功を祝い「今後ますます僧俗一体となつて全一仏教運動推進のためにつくされることを念じます」と会長としてのあいさつがあり、大会は同五時盛會裡に終つた。なお全仏関西事務局嶋飼総長、全仏福岡総務局長、柳組織部長もこの大会に出席した。

全日本仏教徒会議の大盛況。日程つぎのとおり。

第一部(別院本堂)
△法要 理事長あいさつ
正副会長おことば 来賓
祝辞(全仏会長、文部大臣、愛知県知事、名古屋市長など) 講演(草場隆円先生) 仏婦の歌合唱(午後一時から同二時半まで)

△第二部 総会(別院会議室)
報告(各加盟団体代表の活動報告および意見発表) 協議(家庭教育と宗教教育について)
その他

全仏婦連の東京事務局は世田谷区上北沢一―四二九(電話三二八一―五九八)名古屋の大会事務局は千種区楠元町愛知学院内(電話七五一―二五六一)

両大会の準備進む
五月九日愛知学院大学に西走で日夜忙殺されている

全仏婦連の大会準備委員三十人が集り、本部から船口暉子事務局長が出席して六月二日に行われる仏婦大会について話し合った。引きつづいて十日には中外日報の大会特集号のための座談会が同愛知学院にて開かれ、全仏本部から、稲田、伊藤、日野各局長が出席した。ふたつの大会は余日わずかだが地元も本部も東奔西走で日夜忙殺されている

全日本仏教徒会議の大盛況。日程つぎのとおり。
第一部(別院本堂)
△法要 理事長あいさつ
正副会長おことば 来賓
祝辞(全仏会長、文部大臣、愛知県知事、名古屋市長など) 講演(草場隆円先生) 仏婦の歌合唱(午後一時から同二時半まで)

△第二部 総会(別院会議室)
報告(各加盟団体代表の活動報告および意見発表) 協議(家庭教育と宗教教育について)
その他

全仏婦連の東京事務局は世田谷区上北沢一―四二九(電話三二八一―五九八)名古屋の大会事務局は千種区楠元町愛知学院内(電話七五一―二五六一)

両大会の準備進む
五月九日愛知学院大学に西走で日夜忙殺されている

出版案内

私とは何か 新書判 六六頁 定価 百円 下二〇円
文庫 松本徳明
「私」を大宇宙―微視の世界にわたって解明した若き世代必読の書
人間の本质を探る 新書判九二頁 定価一八〇円 下二〇円
杉山三二 人間の神秘は美の研究によって解明せられる：著者は航空機設計技師
千代田区内神田二七―一三
TEL (二五五)七五八七

京 佛 具

真言宗・天台宗
専門佛具店

田中伊雅佛具店

京都市下京区万寿寺若宮角
電話 〇五八四・五七六・四六三〇

全日本仏教会に望むこと



真 溪 義 貫

全日本仏教会は、わが国仏教界の唯一無二の強力な中核機関である。世間から見られている。事実、宗派の大部分と、地方仏教会、それに、各分野の仏教運動団体を傘下に収めているのだから、少くとも外形的には、一般からこのように見られるのは当然である。だが屢々この種の団体が、ひどく無力で、脆弱な體質を余儀なくされている場合が多い。性質は異なるが、例えば国連のような世界機構ですら、いよいよよとなると、たちまちその脆弱性を露呈してしまふことは、よく人の知るところである。「全仏」も、これに似た宿命的な悩みをもっている。加盟団体は、それぞれ「我が仏尊し」とばかり、その信条の宣布にあらゆる努力を払わねばならないのだから、いささかの主権をも、「全仏」に委譲することは出来ない。だから、このような根本的な事情を認識することなしに、「全仏」に過分の期待をかけることは間違っている。従って、「全仏」自身も、一般も、この限界を認識した上で、なお、全仏は何をなすべきか、そしてまた、われわれは何を「全仏」に望むかを考えるべきである。

宗教の自由と、政教分離の体制は、その運営のよるしきを得れば、宗教のために理想的な環境である。国が宗教を支配するようなことが再び到来しては、それこそ大変である。われわれは、「全仏」に望む第一は、宗教がいささかでも強権の支配を受けるようなことのないように、常に対策して貰いたいことである。第二は、近代文明は、所謂、唯我観によって形成された文明であり、その素晴らしい価値は認めるが、今や大きな壁にぶつかっている。それは、逆に人間の疎外を招来し、人類を滅亡に追いこんでいる。そこで最近ようやく世界の心ある人々と、連帯感に立つ新しいヒューマニズムが唱えられて来た。そこでわれわれは、これを真に理論づけるものは仏教の他にはないと思うのである。近代社会を背景とした無我観を、世界思想として推進する方策を真摯に考えることが全仏の一つの使命ではないだろうか。第二に、何と云ってもわが国民は、意識するに否にかかわらず、仏教団体には無関心ではあっても、仏教的雰囲気におかれています。従ってこれを意識する仏教徒への再編成ということが肝要なことである。それには、先ず、あらゆる分野での仏教精進に基づく体制化、組織化であろうと思う。仏教青年会、仏教婦人会、保育連盟などの既存の組織強化はもちろんのこと、仏教化人の組織化も、教育事業にたづなわる教職員連絡体結成、社会福祉事業に関係する仏教徒の組織化等々、いろいろの分野での所謂レーマ

ンムープメントや、僧俗一体の仏教活動体の推進が緊急を要する事項であり、「全仏」こそ、これを推進する強力な役割のための最も適切な機関である。俗世間的な、所謂宗派の共通利益の確保は、もちろん重要な任務の一つである。人によっては、「全仏」はこのような事項だけでよろしいとする意見もないではない。しかし、それだけを任務とするのなら、連絡委員会のようなもので結構だし、曾ての、「全仏」の前身である仏連の初期、すなわち境内地の無償還付を期した頃の各宗務長、管長会議のような組織で十分である。全仏の目的に謳っているような全一仏教的な運動の展開を期するには、仏教を世界思想とするための努力、国内的には、仏教の大衆組織化の方策を推進する機関となるべきである。このためには、加盟団体の負担金制度にのみ依頼することなく、何等かの方法で財政的確立を考究することも必要であろう。また人事にしても、負担金の多寡によるパランス・オブ・パワーでは、人材は決して集まらないし、仏教のために生命をかけた仕事は期しがたい。よろしく強力な適材適所主義に脱皮すべきであろうと思う。具体的には紙数を限定され言をしたにすぎない。

(筆者は全仏文化専門副委員長)

政治と宗教 — 岐路に立つ 創価学会 —

東大教授 笠原一男
文学博士
宗教史学の立場より鋭く分析した創価学会の全貌と今後の進路を公開

B 6判302頁 定価400円 (70円)

あそか 新書 現代に生きる日本史の群像

笠原一男
正確な史実にもとずき浮きぼりされ、た当時の社会とそこに生きた英雄たちの人間像

新定 書判294頁 書価300円 (60円)

あそか 新書 仏教の健康診断

笠原一男
鋭くえぐる既成仏教の病根と適切な立直りのヒント

新定 書判200頁 書価280円 (50円)

現代語仏教聖典 釈尊編

家庭の本棚にぜひ一冊おいておきたい本です

A 6判395頁 定価400円 (60円)

月刊宗教文化雑誌 あそか

編集顧問 笠原一男
斬新な編集でますます好評。マンネリ化した仏教ジャーナリズムにあきたらない人には是非一読をおすすめします。

A 96頁 100頁 5判 1300円 (12円)

発行 あそか出版社
東京都渋谷区神泉町二七番地
電話(六)二六五一 振替東京六六番

彙報

□文化局はさる四月二十二日午後五時からスエヒロで日本教育会役員との懇談会をもち「教育と宗教」「教育と仏教」について意見の交換をした。

△政教分離の面について
△学校教育の中における宗教教育について
△学校教育の中における宗教情報教育について
△学校教育の中における宗教情報教育と家庭教育

育との関連性について多岐にわたった懇談であったが、今後協力して進むことになり有意義な会であった。

□国際局では、ベトナム仏生会に際し、「一日休戦」を実現せしめるべく、街頭署名運動を仏教主義学校に依頼して署名収集をしたが、所期の二〇万人には未だ達しないが、近くその半数の署名が集る見込が立つ。

東海地区 ブロック会議

東海地区ブロック会議は、四月二十五日午前十時から岐阜県仏の当番、全仏主催で岐阜市長良のグランドホテル会議室で開かれた。

まず全仏黒田事務総長、伊藤組織局長のあいさつに引つづき自己紹介をかね各県仏の活動報告があり、座長に和岡耕正岐阜県仏会長をえらび協議にうつり、全仏の本年度の事業方針、予

たので、国際委員会を五月九日午後一時から開催して、この署名を基として、今後如何にこの運動を展開するかを協議した。

中山理々委員長、藤井真水副委員長ほか各委員から活潑な意見の開陳があり、今後わが国の外務省、アメリカ大使館、ベトナム大使館などに対し休戦要望の申し入れを行うことをきめて、午後三時半散会した。

□総務専門委員会は五月十四日午前十時より開催、つぎの事項を協議した。

- 一、財団基金の拡充対策について。
- 二、機構組織について。協議にききだつてつぎの正副委員長を互選。
- 委員長 美濃部 薫一
- 副委員長 古宇田 亮宣
- 副委員長 木村 智広
- 政治専門委員会は五月十四日午後二時から開催、つぎのことを協議した。
- 一、全仏の基本的政治態度について
- 二、その他
- つぎの正副委員長を互選。
- 委員長 狩野 獲麟
- 副委員長 高山 有進
- 副委員長 松田 明道

算などについて柳組織部長から説明があり、愛知大会について木村、村瀬の愛知県仏代表から協力を要請した。

つづいて各県仏教会の組織を如何にして強めていくかのテーマのもとに、活潑な意見が各県代表から開陳され、今後は東海ブロックが提携し、地域活動を盛んにしようとの決議した。明年度は、三重県仏が当番にな

つて開催されることになった。当日の出席者は、(三重県)常磐井義社会長、高島広勝理事、真岡慶心高田派総務、(愛知県)木村正範理事長、村瀬良彦事務局長、(岐阜県)和岡耕正会長、加納博司、浅野真明、寺町研山、戸崎文暉の各役員、若染一雄岐阜市仏檀信徒部会長。(全仏)黒田事務総長、伊藤組織局長、柳組織部長。

関東甲信越ブロック会議

本年度当番県の群馬県仏

は全仏と共催で関東甲信越ブロック会長会議を五月十一日水上温泉松の湯ホテルで開催した。議題は主に第十四回愛知大会について、ベトナム救援活動などで、さらに地域仏教会の強化方策について各会長さん方の熱心な討議があった。

全仏青 全日本仏教育披露宴 年会では、四月二十六日午後五時から大阪ロイヤルホテルで会長大谷光紹氏、副会長池坊専永氏の就任披露記念パーティが各界代表四百余名が出

眼醒めよ浄土真宗

価 380
下 60

仏・浄土・証の徹底的解明の書

—内容目次—

人間は何の為に生きるか。誠、欲、浄土仏、救い、証、浄土真宗の諸相、大無量、寿経本願、三願転入、三輩段、念仏、信心、他力、定善と散善、悪人正機、(以下略)

東京都調布市若葉町3-21
坂田書房 振替東京 64246

歐洲派遣
仏基親善・平和祈願・欧州保衛團視察
日本仏教代表団

下記により、「仏基親善平和祈願、欧州保衛團視察日本仏教代表団」を募集します。ふるってご参加下さるようお願いいたします。

日時 10月18日より11月8日まで(22日間)
費用 39万5千円(但し現行の運賃及料金にして 名以上を基準としている)
資格 全仏加盟各宗派寺院住職仏教徒とその家族(1親等以内)にかぎる。
巡回先 主なものは、仏教関係で、ロンドン仏教会、イタリー仏教会。保衛施設関係ではドイツ、ロンドン、パリイタリー各国施設。
申込〆切 7月末日まで

主催 全日本仏教会
東京都中央区築地3の1
電話(542) 2969・8666

席して盛大にひらかれた。会長に就任した大谷光紹氏は、本東願寺法嗣、仏教界のホープとして大いに期待されている。

全仏の豊原大潤理事長が会長を代理して祝辞を述べたほか、大谷派の訓頼宗務

総長、四天王寺管長出口常順師をはじめ大阪、京都等の仏教各界代表のスピーチが行われた。事務総局からは黒田全仏事務総長、伊藤組織局長、柳組織部長が出席。



全仏は何をなすべきか

愛知大会に望む

とき 5・2—13.30
ところ 東京築地サボイ

全仏ではこのたび各専門委員会の正副委員長初の座談会を開き「全仏は何をなすべきか」「愛知大会に望む」とのふたつのテーマで、全仏がこんご進むべき方向と、間近に迎えた全日本仏教徒会議愛知大会のあり方などについて5月2日13人の諸先生から忌憚のない意見を聞かせていただいた。

全仏機能の限界

司会 まず最初のテーマは「全仏は何をなすべきか」という大きなテーマですが、この大きなテーマの中から、いくつか具体的な問題をあげて話していきたいと思えます。

では中山先生から。

中山、そうですね、大きな問題ですから、組織強化や、文化活動や、国際問題の中から、いくつかりあげて進めていってらよと思えます。

鈴木 実は先日、仏教政治同盟の総会に参りまして、その席で中村文部大臣が祝辞を述べられたうちに「日本には仏教思想はあるが真の仏教徒はいない」とかように言われておった。また中曽根代議士や川野三郎氏も「現在創価学会が活発に運動しているが、彼らが大道に出て、自ら民衆を説得して行くその力と組織はまことに賞むべきものである」と言っていました。われわれも大いに反省しなければならぬと思えました。そこで全仏のこの組織ですが、なかなか全国津々浦々まで届いていない。それはいわゆる旗印があいまいだからで、私はまず第一に「仏教徒としては、こういう方向のもとに進もう」というのが第一で、次に寺院の権益よろこの二本立で行ったらよと思う。

摩尼 先般、国会議員と懇談会をしたの

出席者 (敬称略・順不同)

政治専門委員	板橋 有成	文化専門委員	伊藤 道機	国際専門委員	藤井 真水
組織専門委員	鈴木 敏範	摩尼 清之	全仏事務局	稲田総務局長	
古屋 道雄	神野 真一	真溪 義貫	伊藤組織局長		
小野島元雄	白川 良純	伊東 修己	柳 組織部長		
道雄	青少年専門委員	中山 理々	近藤国際部長		
	伊藤 修己				
	内山 堯修				
	中山 理々				
司会	白川良純委員				

であるが、その時相川議員が「自分も出席させてくれ」と自から出席してきました。そして「日本の政治は仏教によっての政治でなければならぬ。国会議員も仏教徒とともに行動すべきだ」と云って非常に熱心であった。また全仏は仏教を基本としたマスコミ対策をたてて貰いたい。これは個々の宗団ではできない最大公約的なものであるからだ。現在、文化局では宗教と教育の問題をやっているが、とにかく全仏は現実的な今日的なことをやっていたらよ。

古島 ただいま摩尼先生の話しに関連してのべさせていただきましたが、最近ドイツから持田東大教授が帰ってきての話によれば「例えば教育を受ける権利は誰にあるのか、日本では子供にあるのであるが、ドイツでは親にある。西ドイツでは宗教デーというものがあって徹底している」とのことである。そこで全仏は仏教徒は宗教と教育をどう考えるのかと云うようなことをデッカッションして貰いたいと思えます。

司会 だいぶ話題が多岐になってまいりましたが真深さんの身ひとつお願いします。真深 私は全仏の前身である仏連時代にしばらく宗教連盟をやっておりました関係と、全仏になる時にその規約を作成したものの一人であるが、その時に二案があって、第一案は理想案であって現実には実施困難である、ということと第二案

の全仏ができたのであるが、しかし最近の全仏は進歩してきて、特に専門委員会なども活発に活動するようになってきて結構なことと思う。全仏はわが仏尊しとする団体があつまつていてそれが自己の宗派の主権を全仏に委譲しないかぎり、全仏の活動の積極化というのはありえないと思う。ここに全仏の限界があると思う。ちょうど国連が外面的には非常に大きな組織のように見えるけれども、さて現実の問題となると、なかなか、その効力を発揮し得ない、というのはそれぞれ各国の利害関係が違った立場におるからであり、主権を委譲できないところにむずかしいところがある。それと同じ悩みが全仏にあると思う。そういう限界を心得ながら、全仏が今後どういう方向に進むべきかということが全仏を進展させる唯一の道だと思ふ。そこで例えば全仏大会を見ると、その運営において現在の社会と遊離した大会であつて、マスコミなどはあまりとりあげてくれない、議案について決議されてもなら実行されないというものが多し。全仏は宗団でやれない共通の問題をやるという限界のなかで、社会の大衆を相手として仏教運動を浸透させるのが全仏に与えられた使命だ、大衆運動の中核体となるべきだと思ふ。

司会 ただいま真深さんの話しのように全仏の限界の認識の上に立って話しをすべきであるといわれましたが、小野島さんいかがですか。

小野島 いままでにも全仏は何をなすべきかということはいろいろな席上で論議され、ある意味ではまとまっています、あとは実行に移すための努力が問題ではないだろうか。全仏の本年三月の講習会にしても参加者は僅かであつたし、権益の問題にしても、末端の寺院まで納得させる努力が要望されると思ふ。

要するに問題は金

司会 これは全仏の事務局の組織に問題があると思われまので、この点について鈴木さんどうぞ。

鈴木 全仏は今日のような会議をして、会議だけすめばあとはどうなっても、というのが今までの全仏であった。例えば、墓地、農地問題でも、しかるべき手配をできなかった。昨年、私は長野大会で宗教と教育の問題を提案したが、それについて現在までなんら処置されていない。

真溪 私は全仏はできる範囲のこととしては努力が足りないとは申しませんが、なにしろ全仏は事務局も少ないのだからやむを得ない。調査部というものを設けて資料を収集して地方から問い合わせがくればすぐそれに対して解答できるという資料室という組織を作る必要があると思う。それから、ただいま鈴木さんがいわれた宗教と教育の問題は文化局でやっているが、さらに本年六月十八日に文化会議が京都で開催され、ひきつづき東京、仙台でやるのが内定している。鈴木 それはぜひひとつやっていたいだきたいですね。

司会 全仏全体の問題として具体的なことはどうし実行するようにしなければならぬと思う。私の関係の広報小委員会では現在の全仏通信をよくするにはどうしたらよいだらうかということではいろいろ議論がでて、結局は、全仏通信を専門にやる専任者がいないということになって、こんどこの小委員会から組織委員会に対して意見書を出して善処を要望することにしています。

真溪 要するに問題は金ですね(笑)。全仏はうんと予算がとれるような方法を考えらんだね。

稲田 いや全仏は機構が非常にむずかしいですね。真溪 だから宗派から負担金をもらおうの

は限度がある。それ以外で金を集める方法を考えなくてはいい。稲田 各加盟宗派や団体から負担金を貰うには、それぞれ宗派の特徴がある。その宗派の特徴を殺すわけにはいかないので、それを尊重しなければ統一したものはできない。全仏教宗みたいなものを作って宗派を離れて、皆さんが加盟するなら、全仏の現在の機構でもうまくいく。

真溪 それは理想案だね(笑)。要は金ですよ、負担金なんかおしるし程度くらいにならなければ駄目ですよ。司会 いろいろ御意見がございしますが、今日やかましい青少年の問題があまりでいていせんので、伊東さん何かお話しを伺わせてください。

伊東 今回で私は二回目の会合出席でよく分らないのですが、全仏は宗派から負担金をもらっているところに、いろいろむずかしい問題があると考えるのです。これを脱皮しない以上、各宗団でやれない共通の問題もやれないと思えます。金の問題は、必要とあらば誰れでも金をだすのです。青少年の問題に入りますが、私はボーイスカウトをやっていますが、戦前のボーイスカウトは国が補助し、地方が補助してきた、今は特別の場合しか補助はないので普段の維持費は、スカウト自身や父兄が費用して、戦前より健全に運営しているので強いと思えます。そういうところまで行かねば仕事はできないと思えますね。

内山 青少年問題も全仏的なよい指導書があれば一般から当然飛びついてくると思えます。司会 指導書は私どもの青少年協議会でもやっていますので、一緒に協力してやっていきたいと思っています。

真溪 欲しい、仏教会館

伊藤 最近都市では、お寺と檀家との関

係が信徒というものになりつつあります。だから若い人のうちには家の宗旨のいかんにかかわらず興味という関心をもつ人が大勢いる。「自分は座禪に興味がある」とか、あるいは仏典の通俗講義に興味があるとかいう人がいる。そういうことを全仏でとりあげればすこしも宗派の主権の問題には関係しない。それからさきほど全仏の財源の話がありました。私はずいぶん仏教会館を作ってもらいたいと思う。例えば全国の寺院を単位に、あるいは信徒を単位にするとかして、この仏教会館に宿泊施設などをし、会員はいつでも泊めてあげる。不忍池のそばに日蓮系統の宿泊所みたいなものがあるが、全仏でやればあの何倍かのものができると思えます。全仏が築地の本願寺に世話になってかなり長いと思うが、これではなまじい。全仏会館を求めているのなら、この仏教会館をひとつ是非やってほしい。

司会 この件は全国の仏教徒の宿願であるので、いづれ時期がくればやりやすくなると思えます。では、国内のことはこれくらいにして、国際関係で中山さんどうぞ。

中山 私は日本にお盆や花まつりの日の仏教の祝日を制定してもらいたい、これは金がかからないし、教育的にも国際的にも大切なことです。もうひとつはベトナムの問題ですが、全仏も四月八日に日比谷公会堂でこのことについて名のりをあげ物心両面の応援をすることになったのは大変結構なことと思う。さらに幾分でも戦火をやわらげるとか、戦争を追放するとかいう方向に日本の仏教界が動いているということが大切です。中共やワシントンに行くことが大切です。必要だと思ふ。さらに全仏がベトナムへ使節団を送ればよいと思う。

司会 板橋さんどうぞ。

板橋 このたび、阿部電伝師が仏教政治

同盟の委員長になられ、東仏のてこ入れで再建しようということになりました。さきほどの青少年の問題、平和の問題、教育の問題など、仏政同も同一歩調で行きたいと思えますので全仏もいろいろ協力をお願いする次第です。摩尼 いまの話に補足しますが、仏政同は第十二回静岡大会の時に採択されたもので、全仏は政治関係の問題をやるには支障があるので、仏政同が全仏外郭体として、動いているわけです。祝祭日の問題でも、教育の問題も、結局は政治を通さなければ、いくら努力しても解決しない問題です。そこで六月の大会には単なる仏政同の問題としてでなく、政治と宗教という形で、とり上げていただきたいと思えます。

司会 それでは第二のテーマであるところの愛知大会についてお一人づつ、ひとつお願いします。伊東 青少年の問題を展開しようということに期待します。真溪 今年の議案審査会では議案を厳選すれば、なんとか面子(メンツ)をたてるという建前であったが重要な問題だけを取りあげてもらいたいと思う。司会 伊藤さんからさきほど仏教会館の話がありました。伊藤 これは私が生きているうちぜひ実現したい念願です。中山 私も同じです。藤井 たいへん結構なことです。鈴木 伊藤さんの会館を建てる件は結構です。われわれ神奈川県仏では明治百年の行事として一億財団を生みだし、その精神に副うよう実行中です。司会 終りに当り側からお願いいたします。稲田 長時間にわたって、当局をたいへん啓蒙していただき感謝しております(笑)。全仏の機構は皆さん御承知の通りですが、更に御支援をお願いいたします。伊藤局長 眠れる全教団が組織づくりをして出直してゆけばまだ脈があると思えます。とりあえず六月の愛知大会を盛大にするためによろしく願います。

文学博士 佐藤 密雄 著
原始仏教教団の研究
 A5 一〇〇〇頁
 定価五、〇〇〇円

文学博士 水野 弘元 著
仏教の心識論
 A5 一、二〇〇頁
 定価五、〇〇〇円

文学博士 山口 益 著
仏教における無と有との対論
 A5 四〇〇頁
 定価四、〇〇〇円

文学博士 前田 恵学 著
原始仏教聖典の成立史研究
 ●日本学士院 恩賜受賞 定価五、〇〇〇円

文学博士 増永 永靈 鳳 著
仏教における時間論
 A5 三三〇頁
 定価一、五〇〇円

鈴木 一成 著
日蓮聖人遺文の文献学的研究
 立正大学教授 茂田井 教亨 著
 定価三、〇〇〇円

観心本尊鈔研究序説
 A5 四五〇頁
 定価一、二〇〇円

同日蓮聖人御消息文講話
 B6 五〇〇頁
 定価八〇〇円

田中智学 著
本化聖典大辞林全三冊
 B5 三千数百頁
 定価二二、〇〇〇円

仏教図書なら

山喜房 仏書林

東京・本郷・東大赤門前
 振替 東京 一九〇〇番
 電話八一—一五三六一番

訂正急告

全仏の各加盟団体に配布しました愛知大会宿泊観光申込書の観光Cコース料金五〇〇円とありましたのは間違いで愛知大会開催要項にあります如く七百五十円でありませう。ここにお詫びして訂正します。

つきましてはすでにCコース五百円でお申込の方は甚々恐縮乍ら不足分二百五十円を至急左記の事務局にお払い下さい。

名古屋千種区楠元町愛知学院内
愛知大会事務局 (751) 二五六一
 内線二一六

部会会場の所在地
 第一部会 (日泰寺) 千種区法王町
 第二部会 (愛知学院) // 楠元町
 第三部会 (体育館) 中区南外堀町
 第四部会 (全日本仏教会
 財団法人 全日本仏教会

前進座6月興行

河原崎長十郎・中村翫右衛門 他総出演

喜劇 **ひげやぶぐら**
 主演はヒゲが大自慢、それがもどでが、おどろおどろ、波紋は町じゆうにひろる爆笑高演！ はなやかにくりひろげる爆笑高演！

坂津上 **本竜馬**
 南国土佐に生まれ、動乱の幕末に生ゆつたりと海のような風貌、もえる情熱、日本海へ東へかけめぐり、新しい命、波瀾の青春をひらく、自由放た命をかけて竜馬の危機をすくうおはほほえましい二人の恋をおくりなはして、雄大なスケールで描かれる、維新の夜明け！

●電話一本でお切符はお手もとに30名さま以上の団体ご観劇は特別ご便宜おはかりします

6月2日初日—25日/12時・5時二回開演
 1,500円 / 750円 / 350円
 ●お申込みは 東京都武蔵野市吉祥寺博町3—13—2
 前進座東京営業所 TEL. (0422) (43) 1156~8

家庭のしつけを仏教精神で行なうために!!

若い人を育てる **みんなでのばそう**
 運動にご協力を **ひとの子わが子**

財団法人 全国青少年教化協議会
 法人 東京都文京区大塚五、四〇八
 電話 03 / 941五七四五 942一四〇〇

好評！反響多大

申込べ切 六月三十日まで
 全仏通信四月号に日程その他詳しい要項発表。それを御高覧くださるか、または国際局にお問合せください。参加御希望の方は至急御申込みください。



主催

全日本仏教会